

2023年度入学生 美術学部建築学科 授業科目(メジャープログラム) 3・4年生年次配当表

◎:必修 ★:専攻・コース推奨 △:選択 -:開講しない □:その他選択 (自由科目 ○:課程必修 ◇:課程選択 ※:外国人留学生対象科目)

科目区分	(2024年度)				専攻・コース						(2025年度)									
	3年生		単位	セメスター	建築プロフェッショナル		建築デザイン				4年生		単位	セメスター	専攻・コース					
	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F		
共通教育科目	修学基礎																			
	キャリア支援	キャリア支援演習Ⅲ	1	後			各教員⑦	△	△	△	△	△								
	人文社会科学	日本国憲法	2	前			後藤啓	△	△	△	△	△	△							
		政治学入門	2	前			後藤啓	△	△	△	△	△	△							
		外国の歴史	2	後			横田	△	△	△	△	△	△							
	健康とスポーツ																			
	外国語基礎教育科目	英語	外国語コミュニケーション	2	前		宮嶋	△	△	△	△	△	△							
		その他言語	ドイツ語入門Ⅰ ドイツ語入門Ⅱ	2 2	前 後		河田 河田	△ △	△ △	△ △	△ △	△ △	△ △							
	情報・数理基礎教育科目	情報リテラシー																		
		数理基礎																		
サブメジャー科目	別紙資料のとおり										別紙資料のとおり									
専門科目	基幹科目	建築環境Ⅰ	2	前		佐々木哲	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		鉄筋コンクリート構造	2	前		長森	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		建築施工	2	前		小笠原	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
	展開科目	都市計画	2	前		安藤	★	★	★	★	★	★	一級対策製図Ⅰ	2	前	各教員⑨	★	△	△	△
		建築設計演習Ⅲ	2	前		君	★	△	△	△	△	△	一級対策製図Ⅱ	2	後	各教員⑨	★	△	△	△
		建築設計演習Ⅳ	2	後		向井	★	△	△	△	△	△	一級建築士演習Ⅰ	1	前	各教員⑨	★	△	△	△
		住宅設計演習Ⅰ	3	前		向井	△	△	△	△	★	△	一級建築士演習Ⅱ	1	前	各教員⑩	★	△	△	△
		住宅設計演習Ⅱ	4	後		君	△	△	△	△	★	△	一級建築士演習Ⅲ	1	後	各教員⑩	★	△	△	△
		建築環境Ⅱ	2	後		伊藤裕	★	★	★	△	△	△	一級建築士演習Ⅳ	1	後	各教員⑩	★	△	△	△
		建築構造力学Ⅲ	2	前		小笠原	★	★	★	★	△	△	二級対策製図Ⅰ	2	前	佐藤善・向井	△	★	△	△
		鋼構造	2	後		長森	★	★	★	★	△	△	二級対策製図Ⅱ	2	後	佐藤善・向井	△	★	△	△
		建築法規Ⅲ	2	前		佐藤善	△	★	△	△	△	△	二級建築士演習Ⅰ	1	前	佐藤善・向井	△	★	△	△
		建築法規Ⅳ	2	後		佐藤善	△	★	△	△	△	△	二級建築士演習Ⅱ	1	前	佐藤善・向井	△	★	△	△
		建築生産	2	後		小笠原	★	★	★	★	△	△	二級建築士演習Ⅲ	1	後	佐藤善・向井	△	★	△	△
		建築の職能と倫理	2	後		安藤	△	△	△	△	★	△	二級建築士演習Ⅳ	1	後	佐藤善・向井	△	★	△	△
		測量学	2	後		長森	△	△	△	△	★	△	建築積算	2	前	佐々木哲	△	△	★	△
		施工管理技士演習Ⅰ	1	後		小笠原	△	△	★	△	△	△	施工管理技士演習Ⅱ	1	前	小笠原	△	△	★	△
		応用物理	2	前		伊藤裕	△	△	△	△	★	△								
	応用数学	2	後		横山	△	△	△	★	★	△									
	職業指導	2	後		横山	△	△	△	★	★	△									
	インテリゲンティンⅡ	2	後		安藤	△	△	△	△	★	△									
	アクションプログラムⅤ	1	前		君	△	△	△	△	△	△									
	アクションプログラムⅥ	1	後		君	△	△	△	△	△	△									
	建築学特講Ⅰ(Ⅰ)・Ⅱ(Ⅰ)	2	後		柿沼	△	△	△	△	△	△									
	専門演習	建築研究Ⅰ	1	前		各教員⑧	◎	◎	◎	◎	◎	◎	建築研究Ⅲ	1	前	各教員⑧	◎	◎	◎	◎
		建築研究Ⅱ	1	後		各教員⑧	◎	◎	◎	◎	◎	◎	建築研究Ⅳ	1	後	各教員⑧	◎	◎	◎	◎
	自由科目(教職課程)	教育とICT活用	1	前		由水	-	-	-	◇	-	-	教育実践演習(中・高)	2	後	各教員⑪	-	-	-	○
		道徳教育の指導法	2	前		遠藤	-	-	-	○	-	-	教育相談(カウンセリングを含む。)	2	前	蝦名	-	-	-	○
		総合的な学習の時間の指導法	2	後		西崎	-	-	-	○	-	-	学校インターンシップ(学校体験活動)	1	-	各教員⑪	-	-	-	○
		介護等体験指導	1	後		堀川・木村	-	-	-	○	-	-	教育実習(事前・事後指導)	1	-	各教員⑪	-	-	-	○
工業科教育法Ⅰ		2	前		横山	-	-	-	○	-	-	教育実習Ⅰ	4	-	各教員⑪	-	-	-	◇	
工業科教育法Ⅱ		2	後		横山	-	-	-	○	-	-	教育実習Ⅱ	2	-	各教員⑪	-	-	-	○	
学校インターンシップ(学校体験活動)		-	-		各教員⑪	-	-	-	○	-	-									
教育実習(事前・事後指導)		-	-		各教員⑪	-	-	-	○	-	-									

廃止科目	単位数	セメスター	担当教員
文章表現演習	1	後	津田
住空間計画	2	後	安藤
インテリゲンティンⅡ	2	後	木下
インテリゲンティンⅢ	2	後	
プレゼンテーションⅡ	1	後	佐藤善・伊藤裕
建築設備Ⅱ	2	前	君
視聴覚教育	2	前	上坂
建築表現Ⅴ	1	前	安藤
空間計画論	2	前	安藤
アクションプログラムⅦ	1	前	佐藤善
アクションプログラムⅧ	1	後	佐藤善

各教員⑦	林、キャリア支援センター
各教員⑧	安藤、佐藤善、伊藤裕、佐々木哲、長森、横山、小笠原、君、向井
各教員⑨	安藤、佐々木、小笠原、君、向井
各教員⑩	安藤、長森、佐々木、小笠原、君、向井
各教員⑪	藤根、堀川、千葉、木村、塩崎、高井、天野、篠原、三上

教育上の目的に応じ、学生が修得すべき知識及び能力に関する情報（第 2 項関係）

各学科等の主たる科目

【美術学部建築学科】

① 「基本製図」

実技形式の授業であり、建築製図に必要な道具とその使い方、手書きによる製図法の基本から木造建築の基図面作成の手順や表現内容を理解する。

② 「建築設計製図」

積雪寒冷地における木造と鉄筋コンクリート造について、技術と製図の基本を修得することを目標としている。木造では軸組構法が主となるが、構造・構法の考え方や高断熱・高気密の建築技術を学ぶ。鉄筋コンクリート構造では、壁構造とラーメン構造の構造計画、外壁・地下室・屋上防水等の詳細図、積雪寒冷地の外装計画等を学ぶ。

③ 「建築史」

学生が、日本と西洋の古代から近代にいたる社会背景の変革と建築の歴史的な変遷を把握する。建築の歴史は先達が各々の時代の要求に応じて、生活空間(住居・集落・地域・国家)を構築し、より良い生活を営むための痕跡を学ぶことであり、冷静な判断力を養う建築の基本的な概念である。身近にある歴史的建造物や景観を培う心を養い、先達の多くの知恵を更なる未来に生かそうとする思想を学ぶ。

④ 「建築システム論」

この授業では、建築における様々な構造や部材の役割と名称を理解することを目的とする。大学で建築学を修得する上において、さらには建築に関わるあらゆる職種において必要な基礎的知識として、各種建築構造の特徴や部材に関する知識を学ぶ。

⑤ 「建築材料」

建築材料の具体的な名称や機能を理解し、材料の使用方法を修得することで、今後の専門科目を学ぶために役立つ基礎知識を養う。

⑥ 「建築設計演習Ⅰ」

店舗併用住宅の設計では、業務空間と居住空間およびその結合部の平面計画が基本となる。店舗部分の計画はその業種・職種によって多岐にわたり、その規模や家族構成、そして設定された計画地の地域状況によってそのパターンは無限の広がりを見せる。本講で、店舗併用住宅（兼用住宅）という1つのジャンルともいえる課題パターンに対するアプローチの手法をプランニング・エスキスからひもとき、計画内容を的確に図面表現する能力を身につける。

⑦ 「建築設計演習Ⅱ」

設計とは様々な事を考えること。四季の環境を捉え、敷地と建物の関係をよく把握し、建主の要望をくみ取るなど、一軒の建物を設計するのに沢山の思慮がある事を感じながら作図する。バランスが取れ、デザインの良い、魅力ある空間の建築を設計する。住宅の設計を行い、配置計画、外部環境と建築との関わり合い、生活動線を考慮することで、豊かな建築空間を計画する。空間のスケールを体感しながら、建築を設計する事を身につける。さらに講習会に向けてプレゼンテーション能力を高める。

⑧ 「建築計画Ⅰ」

社会構造や価値観の多様化が顕著な今日の状況を的確に捉え、建築が社会に果たす役割や意味を再考すると共に、将来の建築のあり方を考える力を養う。また建築士試験科目の「建築計画」に対応すべく、建築計画全般（住宅地計画、都市計画等含む）にわたる基礎知識を修得する。

⑨ 「建築計画Ⅱ」

建築計画Ⅱは、公共施設をはじめ地域に居住する住民の生活に貢献する施設を対象に、現代の社会状況のなかでどのように計画されなければならないかという視点で学ぶ。そのためには地域施設に求められる役割と、建築としてどのように具体的な計画内容と結びつけていかなければならないかを理解する。

⑩ 「建築設備」

建築にはどのような設備があり、その設備をどう計画し、どう作図するのか。

本講義では、快適な住空間を構成するために必要な給水給湯設備・衛生排水設備・空気調和設備・電気設備・照明設備の知識、ならびに設備計画技術の基本を習得する。

⑪ 「建築構造力学Ⅰ」

建築技術者に必要な建築構造力学のうち、力と構造物の関係・力の釣り合い・静定構造物の特徴や解法を学習する。

物理学や数学をベースとして、構造計算の基礎知識を修得し、それらを応用する能力を身につける。

⑫ 「建築構造力学Ⅱ」

建築構造力学Ⅰの内容を基礎にして、静定トラス・断面の力学特性・応力度・ひずみ度・部材の設計など項目について特徴や解法を学習する。

物理学や数学をベースとして基礎知識を修得し、それらを応用する能力を身につける。

⑬ 「建築法規Ⅰ」

建築関係法令は建築基準法をはじめとして関連する法律が非常に多く、生活環境・社会構造の変化と共に、より複雑化してきている。ここでは建築関係法令のうち基幹である建築基準法・建築基準法施行令をメインとして、建築に関する法律の仕組みと体系について学習し、建築法規を手がかりに建築への理解を実務的視点から深める。

⑭ 「建築環境Ⅰ」

建築の目的はその発生の当初から、外界の厳しい自然環境から人間生活を護ることにあり、快適な室内環境の実現には建築技術の長い発展の不断の目標である。そのために空気、熱、光、音の基本性質を学習し、それらが建築環境にどのように関わるかを理解・修得する。

⑮ 「鉄筋コンクリート構造」

鉄筋コンクリート構造は鉄とコンクリートからなる一種の複合構造物である。

鉄筋コンクリート構造の仕組みとそれを構成する部材断面の設計方法を修得する。

力学や材料の専門知識を応用して部材断面の応力と変形などの性質を理解し、断面設計方法を学習する。

⑯ 「建築施工」

人命を預かる建築物を造りだす過程において、建築が社会に果たす意味や役割を考える力を養う。さらに、建築士試験の「建築施工」および建築施工管理技士試験に対応した基本事項の理解を深める。

※本学のカリキュラム・ポリシーを基礎とし、主要科目を抽出。また、科目の概要はシラバスより一部抜粋。